

# 続・ふるさと こぼれ話

## 芳志戸の六地藏幢が版画になった

第50回

文・写真  
大谷津忠一

茂木町出身で、現在埼玉県在住の日本板画院理事を務める見目陽一さんが、約10年前、下野新聞に栃木県内の風物を発表した。その中で、大谷津溢さん(芳志戸)の墓地入口階段の下にある六地藏幢が作品として紹介された。幢とは、6面の円すい体に六地藏が浮き彫りになっているものである。六地藏とは、衆生(生命のあるものすべて)が善悪の業によりおもむく六道(地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天)において、衆生の苦しみを救うといわれる6種の地蔵であり、地獄道を教化する檀陀地蔵・餓鬼道を教化する宝珠地蔵・畜生道

を教化する宝印地蔵・阿修羅道を教化する持地蔵・人間道を教化する除蓋障地蔵・天道を教化する日光地蔵の総称である。この六地藏は墓地の入口にあるものが多いが、町内には数少ない。芳志戸の六地藏幢は固い石を使ったものでなく、この近郷近在の石であると思われ、建立年は不詳であるが、比較的彫りの良いものと思われる。見目陽一さんが、この六地藏幢を直接見ないと彫れるものではないと思うし、高名な方の作品となっていること

とは大変すばらしいことである。先生がこの作品に何を願っているのか、何を思っているのかは分からないが、この作品に触れると、心がすがすがしくなる。



▲モデルになった六地藏幢



▲版画『芳志戸の六地藏』

### しまたがしの 芳賀の自然 02



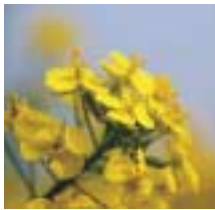
ツマグロ  
ヒョウモン  
チョウ目タテハ科

(写真提供=芳賀町自然に親しむ会)

分生息地=本州以南(暖地性)  
地=平地の林や原野など、人家の付近  
期=4月~10月  
時性=各種スミレ類(幼虫)  
食性=各種スミレ類(幼虫)  
大さ=開帳70mm(羽を広げた最大値)  
ヒョウモン=羽にヒョウ柄の模様がある

### 編集後記

□皆さん、はじめまして！4月から広報担当となりました。今後、取材で町内の各所に顔を出すこととなりますので、よろしく願います。  
□広報担当ということで、当然イベント会場にカメラを持って行くようになりました。…が、カメラの知識もないのに「芳賀町広報」の腕章を持って会場にいる…ことに恥ずかしさを覚えています。  
■徐々に自分の撮った写真が広報紙に載るようになっていくんですね。がんばらねばあ。



■編集 芳賀町広報広聴委員会  
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp  
■発行 芳賀町企画課  
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地  
■芳賀町ホームページアドレス  
http://www.town.haga.tochigi.jp

①芳賀町の携帯サイトはコチラから➡



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA: 環境保護印刷推進協議会  
http://www.e3pa.com